

誘発脳波の解析

1-1) アーチファクトを除去し、再加算データを作成する

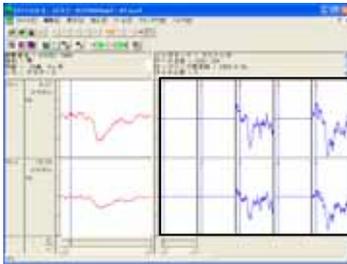
収録した Raw データについて、トライアル1回毎の波形を観察し、アーチファクトを除きます。その後、アーチファクトを除いたトライアルについて加算し、再加算データを作成します。

< 操作の流れ >

- Raw 波形を表示する。
- アーチファクトを除去する。
- 再加算データを作成する。

Raw 波形を表示する。

EPLYZERII-R にて収録した直後は、すべてのトライアルが加算対象となっています。



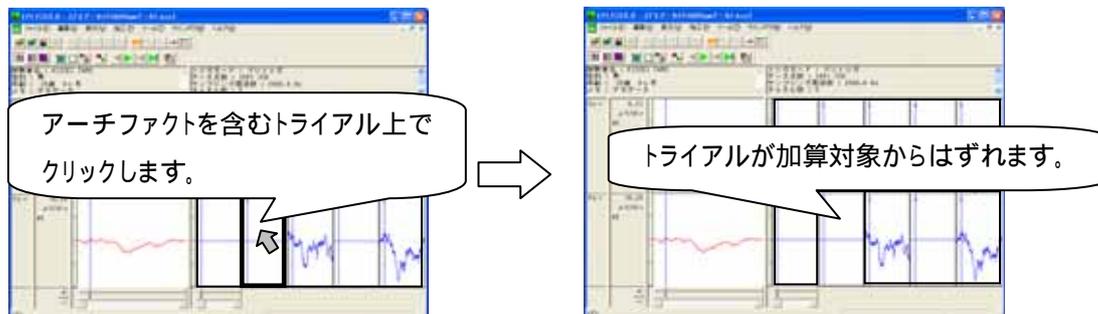
Raw データ表示数の変更方法については、3章「操作のワンポイント 1)Raw データ表示数を増やすには」を御覧ください。

アーチファクトを除去する。

ツールバーの「1 データ単位」ボタンを押します。



アーチファクトを含むトライアル上にマウスを合わせクリックすることで、そのトライアルを加算対象からはずすことができます。



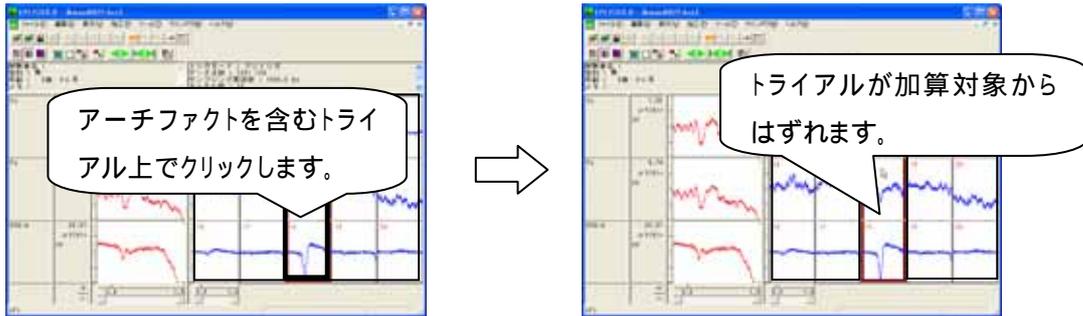
注: 列単位で、加算対象からアーチファクトを外す方法

ツールバーの「1 列単位」ボタンを押すことで、アーチファクトを含むトライアルについて全チャンネルの波形を加算対象からはずすことができます。

例: CNV にて、眼電図のアーチファクトがのっているトライアルを外す場合
 ツールバーの「1 列単位」ボタンを押します。



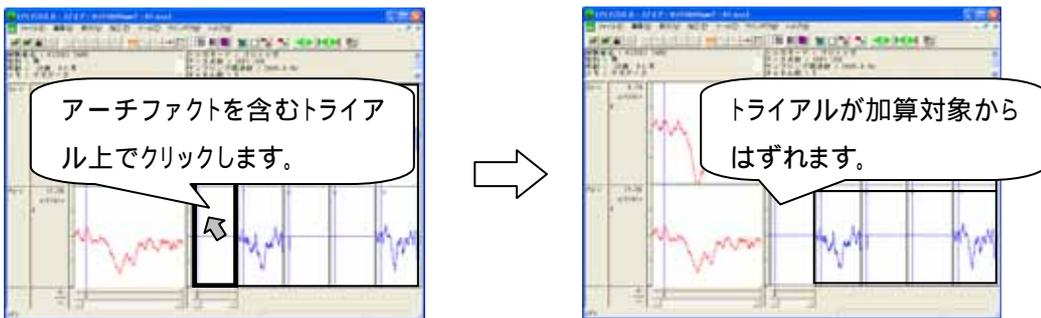
眼電図のアーチファクトを含むトライアル上にマウスを合わせクリックすることで、そのトライアルの全チャンネルを加算対象からはずすことができます。



ツールバーの「Raw データ次ページ」を押し、次のページへ送ります。



次ページ上のアーチファクトを除きます。



以上のように最終ページまでアーチファクトを除きます。

注: アーチファクトが無い場合について

アーチファクトの無い Raw データの場合は、この作業は必要ありません。
 Raw ファイル(拡張子.kce アイコン:緑色)から作成された再加算ファイル(拡張子.kcd または kca アイコン:青色または赤色)を用いて、解析作業を行うことができます。

詳しくは 4 章 解析手順 「1-2)加算データを解析する」を御覧下さい。

注: 加算回数について

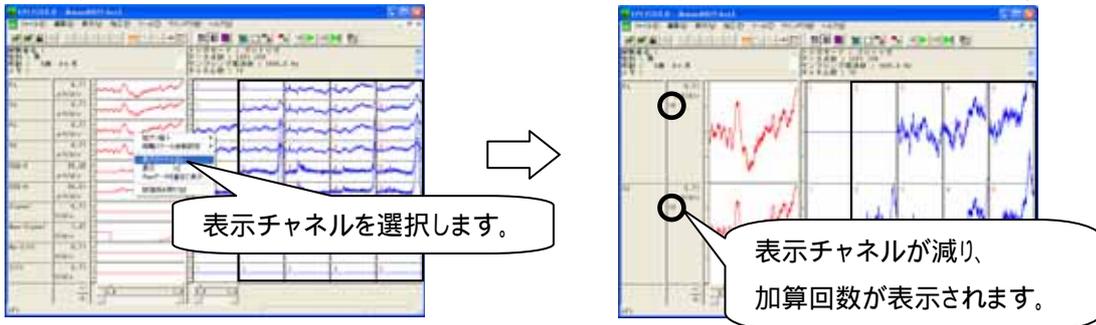
再加算画面では、現在加算対象となっているトライアル数を、左側に表示します。



但し、表示チャンネル数が多いと加算回数が表示されません。
このような場合は、画面右上の最大化ボタンを押して最大化してください。

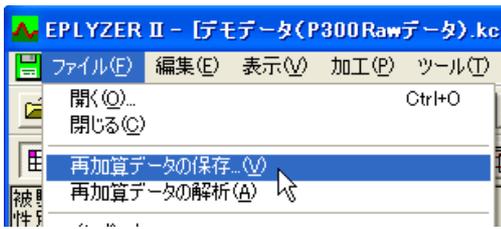


または、波形上で右クリックして「表示チャンネル」を選択し、表示チャンネル数を減らしてください。

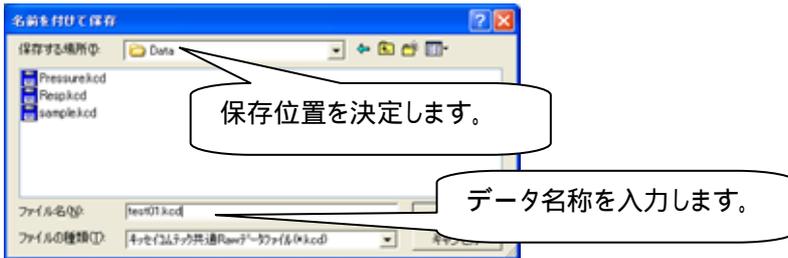


再加算データを作成する。

「ファイル」メニューの「再加算データの保存」を選択します。



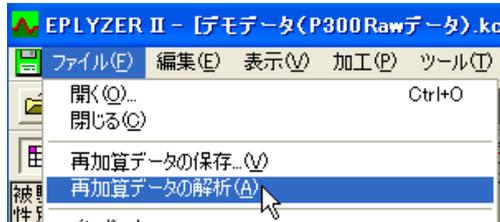
保存先を入力し、再加算データを保存します。



「ファイル」メニューの「開く」を選択することで、保存した再加算データを開き、解析作業を行うことができます。詳しくは 4 章 解析手順 「1-2)加算データを解析する」を御覧下さい。

注:再加算データについて

直ぐに解析手順に入る場合は、「ファイル」メニューの「再加算データの解析」を選択します。



新しいウィンドウに再加算データが表示されます。



「再加算データの解析」を選択した時点では、加算データが保存されていません。後で解析が必要な場合は、あらかじめメニューから「再加算データの保存」を選択して再加算データを保存するか、または解析が必要になった時点で Raw データから再加算データを作成し直してください。